

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2005-295107 (P2005-295107A)  
 【公開日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-041  
 【出願番号】特願 2004-105778 (P2004-105778)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 L 12/28 (2006.01)**

**H 0 4 Q 7/38 (2006.01)**

**H 0 4 Q 7/34 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 L 12/28 3 0 0 B

H 0 4 B 7/26 1 0 9 K

H 0 4 B 7/26 1 0 6 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 12 月 19 日 (2006.12.19)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 1 8】

本実施形態の無線 LAN では、アクセス方式として、CSMA/CA 通信方式を用いている。CSMA/CA では、データ信号を送信する前に希望送信周波数の信号レベルを観測し、他の局が送信していなければデータ信号の送信を行うことができる。他の局が送信中の場合は、所定の手順により送信処理をやり直す。この手順に従うことにより、複数の局が同時に送信したデータ信号が受信局で干渉し、受信誤りとなることを防いでいる。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 2 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 2 5】

図 1 に本実施形態における無線通信装置の構成図を示す。この無線通信装置は、通信回路 1 0 1、通信制御回路 1 0 2 および対無線 LAN 干渉制御回路 1 0 3 から構成されている。なお、主に対無線 LAN 干渉制御回路 1 0 3 で、送信要求信号を受信した受信局が受信準備完了信号を返送する第 1 の無線通信方式を構成する。また、通信回路 1 0 1 および通信制御回路 1 0 2 で、第 1 の無線通信方式と同一の周波数帯でデータ信号の送受信を行う第 2 の無線通信方式を構成する。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 2 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 2 9】

タイミング制御回路 1 1 1 は、通信期間の長さや送信タイミングを制御するための回路である。このタイミング制御回路 1 1 1 は、通信制御回路 1 0 2 から通知される通信回路

1 0 1 の通信期間に従い、デュレーション設定回路 1 1 2 に次の通信期間の長さを知し、C T S フレーム生成回路 1 1 4 に C T S フレーム送信タイミングを知する。具体的には、C S M A / C A に要する可能性のある時間と C T S 信号の送信に要する時間と 自端末が送信したいデータ量の送信時間とを合わせた時間を、次の通信期間の長さとして通知する。また、この通信時間の長さを考慮して、送信開始時間を早めた期間を C T S 送信タイミングとして通知する。